

意見交換会顛末（商工・建設土木・観光等分野）

令和7年11月20日 15時00分～17時00分

◎名寄市の発言

時間作っていただき感謝。

名寄市総合計画（第3次）策定の参考とさせていただく。

せっかくの機会なので、堅苦しいかたちで行うのも勿体無い。

役所職員が囲む形となるが、気にせず発言をいただきたい。

それぞれの団体で感じている課題やまちづくりに関する意見など伺いたい。

■参加者の発言

子どもが高校まで行って、大学でまちを離れる。特定の知識を学ぶために大学に行く。十分に知識を得ても名寄で活かせる場所が無い。新しい産業ができれば、まちの活性化になると感じる。どういう産業を作っていくかが課題になる。

◎名寄市の発言

物流拠点化は王子マテリアの撤退後の新たな産業になり得るのではないかと感じている。

■参加者の発言

人が出ていくのはしょうがない。出てから名寄以外を見てもらうのも必要。帰ってこようかと思う時に、まちはどこも人手不足であるが、そこがマッチしていない。お互いに決めつけがあるのかもしれない。全員で課題について考えていかないといけない。色々な業種の人が集まる場が必要だと感じている。

具体的にどのような人に名寄に帰ってきてもらうか考える必要がある。

■参加者の発言

名寄に戻ってくる場所をどうやって作っていくか。人口が減少していくとまちとしても存続していくなくなるかもしれない。

■参加者の発言

Uターンする人を募っても、民間の家賃が高いので戻りづらい現状がある。まちづくりを主に活動しているが、若者が少なくなり、協力してくれる人が少なくなっている。イベントの支援もしているが、協力してくれる人数が減っている。それがまちの衰退にも繋がっている。無理かもしれないが、公営住宅について居住要件あるが、若者が戻ってくるために活用するのも手ではないか。

◎名寄市の発言

目的用地により、現在は貸せない状況があるが、用地の変更をすれば色々なことが検討できる。

■参加者の発言

名寄市の飲み屋はかなり盛り上がっている方だと感じる。大学生や自衛官などの若年層も多く飲みにくる。飲酒業の店舗は建物の家賃がとても安い。飲食業は事業をしやすい環境である。

自然環境は武器になる。名寄市の今ある魅力を強く発信するだけでも来てくれる人や移住する人はいると思う。

団体の役員など受けてくれる人がいないのは、ネガティブな印象が強いのではないか。楽しいと思ってくれると協力してくれる人も増えるのではないか。

■参加者の発言

人口減少に対して直接的な対策は難しいと感じているが、移住も大事だと感じている。観光の先に移住があると思っている。外から入ってくるものに重きを置くべきと感じる。統計の中で住民の消費を観光で補うためのデータがある。まずは観光で来ていただくのが有効だと感じている。観光地でないこの土地で活動を行うのは難しい部分があり課題もある。

昨日、青年団体の会議に出たが、名寄市といえば？という問い合わせに何個も案が出てくる。優先順位をつけて、一つのものにお金をかけていくのも大事だと感じている。総合計画や観光振興計画に優劣をつけていくのもそろそろ必要なのではないか。

■参加者の発言

現実に人口が減っていく中で本気で考えないといけない。建設業の全体で考えた時にはまだ技術者がいる。やめたい従業員がいるときに市内の他の場所で働く仕組みづくりや、横のつながりを強固にしていく施策もあったらいいと感じる。

いざ人が減った時に回せる仕組みづくりも必要。この地域から人を出さないことと横の連携を見据えた取り組みができたらいいと感じる。

■参加者の発言

風連は人口規模が小さい。小規模なお店が多いが、魅力的な店主が多い。お客様とお店の距離が近く、いい関係性を作れていると感じている。

風連は郷土愛の強い人が多いと感じる。風連で生まれ育った人は応援し続けてくれる人が多いと感じる。

自分も小さい子どもがいて、人は少なくなっているが、のびのび過ごしている。風連で子どもを生んでよかったと思っている。

■参加者の発言

畜産業を営んでおり、少数精鋭だが盛り上がり上がってきている。

少数精鋭なのでプランディングしやすいのが強み。ストーリーを作りやすい。自社も家族で支え合いながら行っている。

名寄は、水稻作をしているが、大きな農地を数軒の農家でやってかないといけなくなると感じる。その時は人手不足になると感じる。

農業の世襲制みたいなところに疑問を感じている。誰かに承継する考えもある。そのように発展していくのも策であると感じる。

外国の方で農業してみたいと思う人がいないわけではないと思う。人口減少の一助になると感じる。

外国人の受け皿が無いように感じる。生活や文化を支える担い手になってくれると感じている。仕組みづくりができるといいと感じる。

■参加者の発言

今と昔を比べると、昔は上がり調子だった。

今の子どもたちは外で遊ばなくなった。昔は昔でよかった。今は今で進めていかないといけない。自分の会社では息子も事業を継ぐという選択肢は選ばなさそう。会社の行く末についても考え始めている。

いいまちであるが、少し寂しいなど感じる。高齢化が進んでいる。

これからどうやっていくか難しい。議論について計画策定の1年半前でも遅いくらいに感じる。

個人的に仕事があるとまちは盛り上がると感じている。

■参加者の発言

札幌なよろ会や東京なよろ会のメンバーについては世代交代されているのか。会員の子の世代に話を聞くともっと面白い話が聞けると感じる。

■参加者の発言

親が名寄市にゆかりのある方を対象にしたツアーや名寄市に関わってもらえる何かがあるといいと感じる。

■参加者の発言

ハローワークにたくさん来ているので、その層と業者をマッチングするような取り組みが必要では。人材不足の解消につながるのではないか。タイミーなどもあるが手数料がすごく取られる。タイミーにはヘッドハンティングができる仕組みがあるが、変な働き方をさせてしまうと評価が下がる難点もある。

一回インターンのような仕組みがあるといいのでは無いか。働きたい人と企業のマッチングのイメージ。

◎名寄市の発言

事務系の求人を求める人が多数。業種によるミスマッチがある。

インターンの一般の方向けのことできも面白いと感じるが、どのくらいの企業が求めているかなど調査するところからになる。

受け入れる土壌がどのくらいあるのかというところから始まる。

■参加者の発言

大前提として名寄市に魅力があるのは間違いないと感じる。スキーやゴルフ、釣りができるなど。日本でも有数だと思う。働き方改革が進んで時間を持て余している有能な方がいる。採用や経営計画、HPの更新など大企業で働いていた方に少しの給金を払って副業として手伝ってもらっている。時間を持て余しているが副業で稼ぎたいという人もいる。タイミーを駆使している会社もある。インターネットでスキルを持っている人がいる一方で、体を動かすようなところは外国人に頼らざるを得ないと感じる。

ミャンマー人に目をついている会社も多い。政権が不安定で、日本に来たい人も多い。作業員は真面目な外国人を雇っていく。

行政の働きについて、補助金を引っ張ってこられてないとは言わないが、中央の方から聞くともっと要望するべきとも聞く。

他の市町村もそういうことをやっていると聞くので、工夫の余地はあると思う。

アンケートで力を入れるべきことの中でインフラの関係はいつも上位に挙がっている。

どういう形で計画に落とし込んでいくか知恵を絞っていただきたいと思う。

■参加者の発言

交流人口があると、人が来ている時は市内の人口が増えているのと同じ。名寄市がいいと言ってもらえるが、名寄市の魅力を熟知してもらっているか。しっかりと子どもに伝えていかないといけないと思う。利雪親雪の言葉が聞こえなくなつた。計画に反映できるものがあれば、この考えが必要では無いか。大学の在り方について、新しい大学の形を作っていく必要があると感じる。人が入っていただける大学を作っていく必要がある。

■参加者の発言

アンケートの項目の中に市街地整備の項目が無い。大事な要素であると感じている。

■参加者の発言

都会に住んで転職を考えた人に名寄市に戻ってきてもらうきっかけとして同窓会の企画の支援などあると面白いのでは。名寄市を思い出すきっかけにしてもらえると嬉しい。

■参加者の発言

名寄市は施策としては正しいことをやっているが、一つ一つの項目を継続すべきだと思う。どこでも仕事をできる方が名寄市に来てくれる人が増えていると感じている。子育て環境を充実してほしいと言う方もいる。これまでやってきたことに自信を持って進めたい。

■参加者の発言

名寄市をどのようにデザインしていくか。住みやすく住み続けられるまちにしていくか。雪があるのもしかり、市民が名寄市の魅力を熟知しているか。利害関係もあるので、全員が満足するのは難しいが、グランドデザインが大事。外部に向けては名寄市といえばこれというのがわかるといいと思う。

■参加者の発言

市としての方向性がわかりやすい計画づくりを目指してほしい。誰が見ても何をするのかがわかるように示していく。

■参加者の発言

最近市民の方から質問がある。ホームページに Q & A みたいな。見やすいホームページの工夫があるといい。伝わりやすい情報発信が必要では。LINE で聞いたら全て答えてくれるような仕組みがあるといいのでは。